



FUKUOKA SOFTWARE CENTER

2020年度 IT技術者育成研修講座のご案内

<http://www.fsc-go.co.jp>

INDEX

株式会社福岡ソフトウェアセンター 2020年度IT技術者育成研修講座

【研修日程】

◆研修の全体体系・ITスキル標準 (ITSS)とは	2
◆ITエンジニア育成コース:新入社員研修	3
◆IT技術コース・ビジネススキルコース・ヒューマンスキルコース	4

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

・IT技術コース:基盤	6
・IT技術コース:アプリケーション	7
・ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス	14
・ビジネススキルコース:問題解決・思考方法	16
・ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント	17
・ヒューマンスキルコース:リーダーシップ	19
・ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他	20

【研修のお申込み方法等について】

◆お申込方法、お問合せ先、受講料払込み方法	24
◆個人情報の取り扱いについて、公的助成金制度のご案内	25

【受講申込書】

◆FSC企画研修	26
◆FISAタイアップ研修	27

【研修会場のご案内】

◆マップ	28
------	----

※各研修の詳細なカリキュラムについては、当社ホームページでご確認下さい。
<http://www.fsc-go.co.jp>

■研修の全体体系



■ITスキル標準(ITSS)とは

各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学におけるITサービス・プロフェッショナルの教育・訓練等に有用な「ものさし」(共通枠組)を提供しようとするものです。

ITサービス企業においては、企業戦略に沿った戦略的な人材育成・調達を行う際の指標となり、自社に必要な人材のポートフォリオを示すための共通言語となります。独自の取り組みによって既にスキルに関する何らかの基準を持つ企業においては、スキル標準との対応関係の整理を行うことにより、自社の基準の客観的な位置づけを把握することが可能となります。ITスキル標準は、これらのプロフェッショナルの成長・育成に関連する様々な主体が、有機的な連携を図る上で必要な辞書的な機能を持つことを目指すものです。

- ◆レベル1: 情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を有する。
- ◆レベル2: 上位者の指導の下に、要求された作業を担当する。プロフェッショナルとなるために必要な基本的知識・技能を有する。
- ◆レベル3: 要求された作業を全て独力で遂行する。スキルの専門分野確立を目指し、プロフェッショナルとなるために必要な応用的知識・技能を有する。
- ◆レベル4: プロフェッショナルとしてスキルの専門分野が確立し、自らのスキルを活用することによって、独力で業務上の課題の発見と解決をリードするレベル。

スキルカテゴリ説明

- ・テクノロジー: 業務を遂行するに当たり必要とされる技術的なスキル
- ・メソドロジー: 業務を遂行するに当たり必要とされる手法、方法論、解決技法等のスキル
- ・ビジネス／インダストリ: その職種、専門分野において知っておくべき知識。業界に特化した事象や業界動向、法律、規則など
- ・プロジェクトマネジメント: プロジェクト遂行に当たって必要となるスキル
- ・パーソナル: 業務を遂行する際に必要とされる人間的側面のスキル

(独立行政法人情報処理推進機構、ITスキル標準センターのホームページより抜粋
http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/download_V3_2011.html)

研修日程

No	講座名	受講料 (税別)	日数	ITSS	4月	5月	6月	研修内容
ITエンジニア育成コース：新入社員研修								
01	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	54,000円	3日間	-	6-8			ITエンジニアに必要なビジネススキルを習得します。挨拶・電話対応・名刺交換等のビジネスマナーをはじめとし、PDCA・報連相といった仕事の基礎的内容からビジネスに不可欠なコミュニケーション、ITエンジニアとして求められるマナーを習得します。
02	コンピュータサイエンス	54,000円	3日間	1	9-13			コンピュータ技術で最も基礎となるコンピュータの仕組みやハードウェア及びソフトウェアの機能を学習します。
03	情報セキュリティ & データ管理	36,000円	2日間	1-2	14-15			情報セキュリティの考え方や情報モラルに関して基礎的な内容を学びます。またデータを扱う上で必要となるOSやネットワーク上でのデータ管理および設定方法に関して学習します。
04	ネットワーク技術	72,000円	4日間	1-2	16-21			現在の情報システムに欠かせないネットワーク技術について、LANを中心にC/S(クライアント/サーバ)ネットワークの基礎知識を学習します。ネットワークの設計、構築を中心に、机上/実機演習を行います。
05	開発に必要なドキュメント作成 (Excel & Word & Mail)	36,000円	2日間	1	22-23			開発で利用するドキュメントを効率よく作成するために必要なExcelとWordの機能を学習します。また、メールにおける文章の書き方等、業務での利用方法を学びます。
06	アルゴリズム	54,000円	3日間	1-2	24-28			プログラミングする上での前提知識であるアルゴリズムおよびデータ構造を、流れ図(フローチャート)を使った演習を通して学習します。
07	データベース技術	54,000円	3日間	1	30-7			情報システムの基盤となるデータベースをファイルの概念を含め、データ操作に必要な知識を中心に学習します。また、RDBMS製品を使用したハンズオントレーニングも行います。
08	IT理解度・目標チェック	18,000円	1日間	-		8		基本情報処理試験の午前問題を解くことにより理解度の確認をすると共に、設定した目標の振り返りおよび見直しを行います。
09	プログラミングワークショップ1 (Java言語)	54,000円	3日間	1		11-13		Java言語の基本文法(式と演算子、変数と型、制御構造等)について理解し、演習を通してプログラミングスキルを取得するワークショップです。
10	プログラミングワークショップ2 (Java言語)	54,000円	3日間	1		14-18		プログラミングワークショップ1に引き続きJava言語の基本文法(メソッド、配列等)を学習します。プログラミング課題を実施することによりさらにプログラミングスキルを深めます。
11	HTML5/CSS3	36,000円	2日間	1-2		19-20		Webページ作成の基本および、主流となっているHTML5とCSSでのWebページ構築について学習します。
12	ITエンジニアに必要なプレゼンテーション実践	36,000円	2日間	1-2		21-22		IT技術者にとって必要不可欠な対人対応能力を、情報収集スキルとプレゼンテーションスキルをベースに、実際のインタビューやプレゼンテーションを行いながら学習します。
13	Java言語によるオブジェクト指向プログラミング	72,000円	4日間	1-2		25-28		オブジェクト指向について理解し、Java言語でオブジェクト指向プログラミングを行う力を身につけます。
14	システム開発およびレビューとテスト	36,000円	2日間	1-2		29-1		システムの開発プロセス並びに開発技法の基本的な考え方を理解し、ソフトウェア開発におけるレビューのやり方、レビューのポイントを学びます。また、ソフトウェア開発における最終段階となるテストについて、品質向上の観点からとらえたテスト実施ができるように、テスト技法に関して演習を行っていきます。
15	サーバサイド技術	90,000円	5日間	2			2-8	Webアプリケーション開発に必要なサーバサイドJavaのサーブレットおよびJSPIに関して学習します。Tomcatを用いたアプリケーションサーバの構築、さらにJDBCでのDBアクセスも学習します。
16	システム開発ワークショップ1	72,000円	4日間	2			9-12	システム開発の上流工程である要件定義をグループで行っていきます。課題はWebアプリケーションの開発で、プロジェクトの開発現場を経験する実践的なワークショップです。
17	システム開発ワークショップ2	180,000円	10日間	2			15-26	システム開発ワークショップ1で作成した要件定義書を元に外部設計、内部設計、製作、デバッグと下流工程を含めて全ての工程を実施します。グループでのプロジェクト開発であり決められた納期までに品質を考慮して完成させる実践的なワークショップです。最終日はワークショップで開発した成果をグループで発表します。
18	ITエンジニアに必要なビジネススキル2	36,000円	2日間	-			29-30	全研修を振り返りIT人材として自身の成果とこれからの決意を個人毎にプレゼンテーションを行います。また配属に際してITエンジニアに必要なコミュニケーション及びビジネススキルの見直しを行います。

※ITエンジニア育成コースのカリキュラム詳細は、弊社Webサイト(<http://www.fsc-go.co.jp>)に掲載しております。

研修日程

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税別)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
IT技術コース: 基盤													
	100	IT技術者必須のネットワーク技術・ネットワークの基本から学ぶ	P6	70,000円	3日間				5-7				
	101	ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」	P6	55,000円	2日間					19-20			
FISA 1	102	Raspberry PiによるIoTことはじめ	P7	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間						7-8		
IT技術コース: アプリケーション													
	103	ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習	P7	55,000円	2日間	13-14							
	104	Pythonを使った、機械学習を理解するための数学基礎	P8	28,000円	1日間		26						
	105	Pythonプログラミング入門	P8	55,000円	2日間			14-15					
	106	Spring～Webアプリケーション開発フレームワーク	P9	70,000円	3日間			16-18					
	107	Pythonを使った、機械学習を理解するための統計学	P9	28,000円	1日間			29					
FISA 2	108	Pythonによるディープラーニング入門	P10	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間				12-13				
FISA 3	109	レスポンスWebデザイン制作	P10	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間				20-21				
FISA 4	110	IT技術者のためのRPA入門	P11	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間					5-6			
	111	SQL～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで	P11	70,000円	3日間					11-13			
	112	Keras によるAIモデルの構築手法	P12	55,000円	2日間						10-11		
	113	2日で学ぶ、Pythonを使った機械学習	P12	55,000円	2日間						22-23		
	114	Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで	P13	70,000円	3日間							13-15	
	115	PHPによるWebアプリケーション開発	P13	70,000円	3日間							20-22	
	116	Pythonを使った、ディープラーニングの仕組みと検証	P14	55,000円	2日間							26-27	

研修日程

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税別)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス													
	117	生産性を上げるタイムマネジメント研修	P14	28,000円	1日間		20						
FISA 5	118	顧客の心をつかむITソリューション提案の実践 ～実際のITソリューション提案を2日間で体験する～	P15	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間					26-27			
FISA 6	119	デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案	P15	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間						1-2		
FISA 7	120	AI/IoTの概要とビジネス創造 ～LEGOとデザイン・シンキングを使って創り出す～	P16	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間						3-4		
ビジネススキルコース:問題解決・思考方法													
	121	信頼されるSEに求められる問題解決スキル	P16	55,000円	2日間	6-7							
FISA 8	122	システム開発におけるレビュー技法 ～ミーティング時間の短縮 とより重大な欠陥を見つけるために～	P17	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間					24-25			
ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント													
	123	失敗しないプロジェクトのための段取り力	P17	55,000円	2日間						14-15		
	124	失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力	P18	55,000円	2日間						16-17		
	125	デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」 アップ・トレーニング	P18	55,000円	2日間								4-5
ヒューマンスキルコース:リーダーシップ													
FISA 9	126	チームメンバー・OJT担当者のためのメンバーをリードする技 術～自ら考え、自ら動くメンバーへ導くリーダーになるために～	P19	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間			3-4					
FISA 10	127	サーバントリーダーシップ研修 ～部下の成長を促進するリーダーシップ～	P19	25,000円(会員) 28,000円(非会員)	1日間					10			
ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他													
FISA 11	128	IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～	P20	50,000円(会員) 55,000円(非会員)	2日間	29-30							
FISA 12	129	アンガーマネジメント研修	P20	25,000円(会員) 28,000円(非会員)	1日間		5						
FISA 13	130	ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性	P21	25,000円(会員) 28,000円(非会員)	1日間		27						
	131	【女性向け】ありたい自分のキャリアデザイン研修	P21	55,000円	2日間			9-10					
	132	心理学を応用したメンタルヘルス・マネジメント	P22	55,000円	2日間				22-23				
	133	【若手向け】業務効率にも繋がるモチベーションマネジメント	P22	28,000円	1日間					17			
	134	ブラッシュアップ・ビジネスマナー ～信頼されるビジネスパーソンになるために～	P23	28,000円	1日間								17

※最低開催人数は5名とさせて頂いております。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※講座改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:基盤

100 IT技術者必須のネットワーク技術・ネットワークの基本から学ぶ

実施日	10/5～10/7	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	70,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30～17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 1-2		●カリキュラムの概要 IT技術者に要求されるネットワーク技術を、演習を通して習得します。ネットワーク上の通信の基礎から、スイッチやルータなどの通信機器の動作について学び、実際にネットワーク設計および構築を行います。		●カリキュラムの詳細 1. ネットワークの基礎知識 ・通信プロトコル ・レイヤー ・OSI参照モデル ・LANとWAN ・回線交換とパケット交換 2. TCP/IPの基礎知識 ・TCP/IPのレイヤー構成 ・OSI参照モデルとの対応 ・ネットワークインタフェース層の役割 ・インターネット層の役割 ・トランスポート層の役割 ・アプリケーション層の役割 ・IPアドレス ・ポート番号 ・グローバルIPとプライベートIP ・サブネット化とサブネットマスク ・ハブ/スイッチの役割と機能 ・ルータの役割と機能 3. TCP/IPで通信するための仕組み ・MACアドレス ・ドメイン名 ・ルーティングとデフォルトゲートウェイ ・スタティックルーティングとダイナミックルーティング ・DHCPサーバ ・NATとNAPT 4. ネットワーク機器と仮想化 ・イーサネットの機能と構成 ・L2スイッチ ・L3スイッチとルータ ・無線LAN ・仮想化 5. ネットワークのサービス ・Webを支える技術 ・HTTP ・SMTP ・POP3とIMAP4 ・DNS 6. ネットワークのセキュリティ ・情報セキュリティの3大要素 ・ソーシャルエンジニアリング ・標的型攻撃 7. ネットワークの構築と運用 ・ネットワーク構成の設計 ・サブネット構成とIPアドレス割り当て ・トラブルシューティング 8. ネットワーク構築演習 ・スイッチ・ルータを用いたネットワーク構築 9. まとめ ・ネットワーク技術の最新動向	
●到達目標 ネットワークのしくみが理解できる。 主要なネットワークコマンドを活用したトラブルシューティングができる。 スイッチやルータなど通信機器の動作が理解できる。 基本的なネットワークの設計および構築ができる。					

101 ネットワークエンジニアが教える「情報セキュリティ」

実施日	11/19～11/20	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30～16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2		●カリキュラムの概要 「セキュリティ」は専門家だけのものではなく、インターネットに接続する人であれば誰でも意識しておくべきです。本講座では、情報システムのセキュリティを実施、維持するためのセキュリティ技術について習得します。		●カリキュラムの詳細 情報セキュリティの概要 ・情報セキュリティの目的 ・情報セキュリティの定義 ・情報セキュリティの重要性について セキュリティインシデントの現状 ・セキュリティインシデントとは ・セキュリティインシデント事例 ・攻撃と対策の最新動向 情報セキュリティ対策の概要 ・人的・管理的セキュリティ対策・物理的・環境的セキュリティ対策 ・技術的セキュリティ対策 ・セキュリティポリシー ・情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS) インターネットのしくみとセキュリティの基本 ・IPアドレス ・ポート番号 ・ドメイン ・サーバ・クライアント型システム ・不正アクセス対策 ・コンピュータウイルス対策 ・スパイウェア対策 ネットワークセキュリティ ・パケットフィルタリング ・Proxyサーバ ・アドレス変換 ・ファイアウォール ・IDS/IPS ホストセキュリティ(サーバ) ・セキュリティパッチの適用 ・サービス管理(Webサーバ/Mailサーバ/DNSサーバ) ・ログ管理 ・脆弱性監査 ホストセキュリティ(クライアント) ・セキュリティパッチの適用 ・Webブラウザのセキュリティ ・電子メールのセキュリティ 暗号と認証 ・暗号化のしくみ ・認証システム	
●到達目標 情報セキュリティの必要性について理解できる。 ネットワークからの不正侵入のしくみが理解できる。 情報システムに対する脅威への対策が理解できる。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:基盤

102 Raspberry PiによるIoTことはじめ				FISA 1	
実施日	12/7～12/8	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			1. RaspberryPi ・RaspberryPiの種類 ・製品仕様 ・OS ・GPIO 2. Raspbian ・Raspbianとは ・Raspbianのインストール ・Linuxの基本コマンド 3. GPIOを使ったLED制御 ・GPIOにLEDの接続 ・PythonからGPIOを操作してLEDを制御する【演習】 4. Python ・Pythonの基本文法 ・GPIO制御モジュール 5. GPIOを使ってスイッチ操作を検知 ・GPIOにタクトスイッチを接続 ・PythonでON/OFFを検知する【演習】 6. センサ情報を取得 ・GPIOにセンサを接続しPythonでデータを取得する【演習】 7. ネットワークサービスとの通信 ・Raspbianのネットワーク設定 ・Webサービスとは ・Pythonのhttplibモジュール ・リモートPCにWebサービスを設置しPythonから接続する ・センサ情報をリモートPCに送信しランプを制御する【演習】 8. モーター制御 ・GPIOにモーターを接続しPythonから操作する 9. リモートからRaspberryPiを操作 ・リモートPCからブラウザを使用してRaspberryPiを操作 ・RaspberryPiにWebサーバーを動作させる ・PythonでWebアプリケーションを構築しモーターを制御する【演習】		
●カリキュラムの概要					
Raspberry Pi 3を使って、Raspbianのインストールから環境設定、Raspbian(Linux)の基本コマンド、Pythonを使ってGPIOピンに接続したパーツ(センサ、LED、モーター)を制御、そしてネットワークからHTTPを介してRaspberry Piをコントロールする知識を習得します。					
●到達目標					
1. Raspberry PiにRaspbianをインストールし環境設定をすることができる 2. GPIOピンを使いスイッチやLED、センサなどの制御の基本を体験する 3. ネットワークを使用したデータ送信やRaspberryPiへの指示を体験する					

IT技術コース:アプリケーション

103 ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習					
実施日	7/13～7/14	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-3			1. Python入門 ◆Pythonのプログラミング基礎 ◆演習問題 2. Pythonによる主要な解析手法 ◆主成分分析、コレスポンデンス分析、クラスター分析 ◆回帰分析、因子分析、アソシエーション分析、決定木分析、ランダムフォレスト ◆演習問題 3. データ分析演習 ◆需要予測分析演習(重回帰分析、ランダムフォレスト) 4. ビジネスにおけるデータ分析活用事例 ◆時系列分析 ◆線形計画法(最適化問題) ◆オープンデータ活用		
●カリキュラムの概要					
本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、Pythonのプログラミング基礎からPythonによる主要なデータ分析手法を学びます。さらには、学んだデータ分析手法を駆使したデータ分析演習と豊富な実例を通して、ビジネスの現場で使えるデータ分析を学びます。					
●到達目標					
・Pythonのプログラミング基礎を習得すること。 ・様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

104 Pythonを使った、機械学習を理解するための数学基礎

実施日	8/26	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	28,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 1-2				●カリキュラムの詳細 AIと機械学習の基礎 ・機械学習とは ・教師あり学習 ・教師なし学習 Pythonの基本 ・Jupyter Notebookとは ・Pythonの基本ルール 数学基礎 ・変数 ・定数 ・1次式と2次式 ・関数の概念 ・平方根・累乗と累乗根 ・指数関数と対数関数 ・自然対数 ・シグモイド関数 ・演習 微分 ・微分 ・微分基礎 ・常微分と偏微分 ・演習 線形代数 ・ベクトル ・内積 ・行列の足し算・引き算・掛け算 ・逆行列 ・演習	
●カリキュラムの概要 現在のAIは第3次AIブームといわれ、その中心となるのが機械学習です。機械学習を学ぶ上で避けて通れないのが数学の知識です。機械学習の書籍を開いた時、複雑な数式に嫌気が差した方も少なくないと思います。本講座は、そのような挫折をしないための数学の基礎知識を平易に解説してハードルを下げる内容となっております。また、Pythonを使って図や実際に動作させて直感的に理解できる内容となっております。					
●到達目標 ・機械学習で利用する数学が理解できる。					

105 Pythonプログラミング入門

実施日	9/14~9/15	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2				●カリキュラムの詳細 1. Pythonとは 特徴、種類、バージョン、注目される分野 2. Pythonの環境設定 インストール、環境、使い方 3. Pythonの文法 変数と値、組み込み型(数値、文字列、タプル、リスト、辞書、集合)、演算子 制御文(if, for, while, break, continue) 関数定義、関数の引数 関数の返値、変数のスコープ、ドキュメンテーション文字列 4. 標準関数 range, int, len, input, sum, str, dir 5. モジュール import, 名前空間 6. コマンドライン引数 7. ファイル操作 8. 文字列操作 文字列フォーマット、format, split, join 9. 日本語文字コード 10. Pythonの文法2 例外、スライス、リスト内包表記、三項演算子 11. プログラミング課題演習【演習】 12. 標準ライブラリ ・日付と時間操作 ・HTTP通信処理 ・CSVファイル操作 13. プログラミング課題演習【演習】 ◎総まとめ	
●カリキュラムの概要 Python3言語の基本から、簡単なプログラミングのための知識を習得します。 ・変数の型と制御文、演算子など基本文法と標準関数の使用方法 ・文字列操作、文字コード変換、日付時間操作など基本的なデータ操作 ・スライス、リスト内包表記などPython独特の文法 ・ファイルやディレクトリに対する操作 ・モジュールによる拡張機能(HTTP通信、CSVファイル操作)を利用する方法					
●到達目標 1. Pythonの基本文法にそってプログラミングができる 2. Pythonの概要を説明できる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

106 Spring～Webアプリケーション開発フレームワーク

実施日	9/16～9/18	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	70,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細 JSPサーブレット概要 JSPの概要、サーブレット概要 フレームワーク使わないWebアプリケーション作成 フレームワーク無しでのMVC JavaBeansとは・MVCモデルとは JavaBeans、JSP、サーブレットでMVCモデル フレームワークの導入 Eclipseベース統合開発環境STSの使い方 フレームワークSpring用のプロジェクト(Maven)の作成 小さなMVCアプリケーションをSpringで体験 @で始まる各種アノテーション(注釈型)の説明 Springの利点を知る～DI等 フレームワーク無しのMVCと、Spring MVC作業量を比較 DIとは～DIを使って機能を実装 ラジオボタン・リスト選択等 チェックボックス・ラジオボタン リスト選択・ラベルを使用したSpringプログラム バリデーション機能の活用 多くのフレームワークにあるvalidatorを使う pom.xmlを編集して機能をロードする Springからデータベース使用 エンティティとは～エンティティクラスの作成 DAOとは～DAOクラスの実装 Model、Controllerを編集してDBアクセス 大演習 SpringによるWebアプリケーション作成			
●カリキュラムの概要 「フレームワークとは何か」という状態から、フレームワークを用いるメリットを実感し、DIなどフレームワーク機能を利用できる状態へレベルアップします。JavaフレームワークであるSpringを習得し、講義中にSpringを用いて小さなWebアプリケーションを作成します。 ・フレームワークを利用してのWebアプリケーションの作成方法の習得 ・mvc-config.xmlのbeanとpropertyタグ、様々な入力形式(checkbox, hidden等formタグ) ・検証機能の利用、ValidatorMessages.properties, Springを用いたミニアプリケーション作成		●到達目標 Springフレームワークを使用して、Webアプリケーションを作成することができる。			

107 Pythonを使った、機械学習を理解するための統計学

実施日	9/29	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	28,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 1-2		●カリキュラムの詳細 AIと機械学習の基礎 ・機械学習とは ・教師あり学習・教師なし学習 Pythonの基本 ・Jupyter Notebookとは ・Pythonの基本ルール 統計の基礎 ・ヒストグラム ・平均、中央値、最頻値、分散、標準偏差 ・箱ひげ図 ・散布図と相関係数 ・演習 正規分布 ・正規分布とは ・標準化 離散型確率分布 ・ベルヌーイ分布 ・二項分布 機械学習 ・回帰分析			
●カリキュラムの概要 現在のAIは第3次AIブームといわれ、その中心となるのが機械学習です。機械学習を学ぶ上で避けて通れないのが数学と統計の知識です。本講座は、機械学習で必要となる統計の基礎知識を平易に解説する内容となっております。また、Pythonを使って図や実際に動作させて直感的に理解できる内容となっております。		●到達目標 ・機械学習で利用する統計が理解できる。			

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

108 Pythonによるディープラーニング入門				FISA 2	
実施日	10/12～10/13	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 3-4			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 第4次産業革命の主役の一つであるAIについて、そのキーワードである機械学習とディープラーニングの基礎をPython言語を使いながら学習します。Googleがオープンソースで公開しているTensorFlowを使ってディープラーニングとはどんなものかを体験する研修です。			1. 機械学習とディープラーニング (1) 機械学習とは 機械学習の分類・機械学習の流れ 教師あり/教師なし学習のアルゴリズム (2) ディープラーニングとは ニューラルネットワーク・パーセプトロン 2. 環境 (1) Anacondaインストール (2) Anaconda使い方 3. Python基礎 (1) 宣言とコメント (2) データ型 (3) 演算子 (4) 制御文 (5) 関数 (6) その他文法 (7) ファイル入出力 (8) NumPyモジュール (9) Pandasモジュール (10) Jupyter Notebookの使い方 (11) matplotlibモジュール (12) 機械学習用データの準備 4. scikit-learnによる機械学習 (1) scikit-learnとは (2) 回帰分析 (3) 教師あり学習(k近傍法、パーセプトロン) (4) ロジスティック回帰 (5) サポートベクターマシン (6) ニューラルネットワーク (7) 教師なし学習 5. TensorFlowによるディープラーニング (1) TensorFlowとは (2) TensorFlowインストール (3) TensorFlowの基本 (4) TensorFlowで機械学習 (5) TensorFlowでディープラーニング		
●到達目標 1. 機械学習とは何か、ディープラーニングとは何かを説明できるようになる 2. Pythonでの環境設定と簡単な文法を習得する 3. scikit-learnとTensorFlowの使用を体験する					

109 レスポンシブWebデザイン制作				FISA 3	
実施日	10/20～10/21	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 スマートフォンの利用がPCの利用を上回ろうとしている今日、マルチデバイス対応が必須となっています。HTML5/CSS3をベースに1つのHTMLファイルですべてのデバイス(スマートフォン・タブレット・PC)向けのページに対応できるレスポンシブWebデザインの設計方法、制作方法を習得します。HTML5/CSS3基礎～基本コーディング～テスト方法までを習得します。			1. マルチデバイス対応レスポンシブWebデザイン基礎知識 ◎オリエンテーション【講義】 ・マルチデバイス対応とは【講義】 2. レスポンシブWebデザイン【講義】 ・デザイン実習【演習】 3. 基礎知識【講義】 ・基礎実習【演習】 4. HTML5・CSS3基礎【講義】 ・HTML5・CSS3基礎【演習】 5. メディアクエリ基礎【講義】 ・メディアクエリ基礎【演習】 6. レスポンシブWeb ・デザインサイト制作【講義】 ・レスポンシブWeb ・デザインサイト制作【演習】 7. サイトテスト方法【講義】 ・サイトテスト方法【演習】 8. レスポンシブWebデザインサイト制作 ・グループ作業にて設計→制作→発表 【グループ演習】 ◎総まとめ		
●到達目標 ・マルチデバイス対応の基礎的なWebサイトが自分一人で構築できる ・基礎的なハイブリッドアプリを自分一人で開発できる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

110 IT技術者のためのRPA入門				FISA 4	
実施日	11/5～11/6	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間: 9:30～16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			1. RPAの概要【講義】 (1)RPAとは何か／何が出来るのか (2)RPAの沿革とその進化 (3)RPAの市場動向 (4)働き方改革とPRA 2. 周辺技術との類似点と相違点【講義】 (1)RPAとVBA (2)RPAとRDA (3)RPAとAI 3. RPAの導入事例【講義】 (1)オフィス内事務処理の効率化事例 (2)営業・顧客管理での活用事例 (3)システム運用での活用事例 4. 代表的なRPAツール【講義・演習】 (1)RPAツールの分類 /PC型・サーバー型・クラウド型 (2)RPAツールの一覧とその特徴比較 (3)WinActor/BizRobo! /RPAフリー版・トライアル版など 5. RPAの業務への適用検討【講義・演習】 (1)対象業務を選択する (2)対象業務の自動化を検討する (3)インプットとアウトプットを考える (4)シナリオ開発と確認 ※上記について以下の流れで運営 個人検討→グループワーク→共有 6. RPA導入に向けたコンサルティングの視点【講義】 (1)業務プロセスを捉える視点 (2)業務間の連携による合理化の視点 (3)新たな付加価値を創り出す視点 7. RPAの今後の進化予測【講義】 (1)AIとの連携 (2)ARとの連携 など ◎質疑応答／総まとめ		
●カリキュラムの概要					
今、注目されているRPA (Robotic Process Automation) がどのような業務で活用されているのか、具体的な導入事例の解説により、対象となる業務プロセスのイメージを広げていきます。 さらに、実際の業務適用を検討することにより、PRA導入検討時のポイントを学習します。					
●到達目標					
1. RPAを取り巻く動向とその特徴を説明できる 2. RPAの技術と効果について説明できる 3. RPA導入の検討と支援ができる					

111 SQL～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで					
実施日	11/11～11/13	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	70,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間: 9:30～17:30 総時間数: 21時間 ITSS: 2-4			■SQLのおさらいwhere句とは、group by～having句とは、order by句とは 易しいが落とし穴もあるwhere句(ANDとORの優先順位、NULL比較)、group byは集計関数と共に初学者同様学習する。 ■パフォーマンスチューニングの入り口～Indexとは、Indexの使用 indexとは何かを知り使ってみる。Indexを高速に保つB木を知る。 カーディナリや選択率によっては低速になるケースを知る。 ■少し難しいSQL文の学習～テーブル結合するinner join、left join等 内部結合(inner join～on) 外部結合(left/right join～on)を中心とするテー ブル結合のSQL文を書いて実行できるようにする。 ■実行計画の見方、統計情報とは、テーブル結合で使われるアルゴリズムを習 得 パフォーマンスチューニングの土台となる知識(実行計画とは、統計情報と は、実行計画の閲覧方法、テーブル結合のNested Loops、Hash、Sort Merge 等)を知る。 ■ビューとは～内部的にテーブル結合を使うビューの実装 ビューを学習しながら、前日の内部結合、外部結合の違いやアルゴリズムに よるパフォーマンスの良しあしを復習する。 ■ウィンドウ関数(分析関数)を知る、SQL文法の大局をつかむ方法 unionとは何かを知ってSQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも)パ フォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する。 ■サブクエリその1、副問い合わせ(サブクエリ)とは～実装して習得する 最も簡単なスカラサブクエリから始めることで、最難関SQLも一から習得で きる。 ■unionとは～SQL実装、unionのパフォーマンスとその代替 unionとは何かを知り、SQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも)パ フォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する。 ■サブクエリその2、副問い合わせの中でも難しい相関サブクエリを習得 相関サブクエリと通常のサブクエリの違いを知る。 EXISTS、NOT EXISTSを使用してみる。 ■ウィンドウ関数(分析関数)を知りサブクエリやテーブル結合を多用しない。 SQLのパフォーマンス演習。 SQL文にループ構文がない理由を知る。最悪のプログラム側でのループを紹 介。GROUP BY句やウィンドウ関数(分析関数)の活用。SEとしてパフォーマンス 悪化を説明する演習。 ■テーブル設計の肝、正規化とは～正規化演習。トリガー、トランザクションも 知ってDB知識の抜けをなくす パフォーマンスチューニング以外で、SEならば知っておきたい知識を網羅す る。特に大事なテーブル設計と正規化は改めて主キー、外部キーなども学び、 正規化演習も行う。		
●カリキュラムの概要					
初歩的なselect文は書けるプログラマーに、テーブル結 合やサブクエリ等一步進んだSQL文を体系立てて習得し ていただく。その際DBMS内部でどのようなアルゴリズム でSQL文が実行されているか見る手段、またそのアルゴ リズムが高速になるように仕向ける手段(パフォーマンス チューニング)も習得する。他にも、ビュー、トリガー、ト ランザクションといったDBを構成する要素を知り、テー ブルの正規化も学び、設計～SQL実装までDBについて一通 りの知識を有するSEになる。					
●到達目標					
サブクエリ(副問い合わせ)などSQL文を実装でき、SQL パフォーマンスを考慮できる。 上流工程から、SQLパフォーマンスを見越して事前に布 石を打つ設計をしたり、意見を述べられる。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

112 Keras によるAIモデルの構築手法

実施日	12/10～12/11	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4		●カリキュラムの詳細 ■AIの歴史 カリキュラムの概要説明/ 人工知能の歴史について ■機械学習について アルゴリズムの分類/パーセプトロン/ ニューラルネットワークの学習/機械学習の種類 ■今どきのAI開発 AI開発のトレンドについて ■開発環境確認 環境構築手順の確認 ■MNISTについて RNNを使った機械学習について MNISTとは/階層型NNを使った機械学習/ MNISTデータの準備/入力データと出力データの成形 学習の実行と結果確認 ■Keras フレームワークによる高速化 CNNを使った機械学習 Kerasとは/CNNを使った機械学習について 入力データと出力データの成形/学習の実行と結果確認 ■CNNを使った手書き文字認識 手書き文字作成/認識用プログラムの解説 学習の実行と結果確認 ■CAEを使ったノイズキャンセラー オートエンコーダ/CNNでオートエンコーダ/データの準備 議事ノイズデータ作成/CAE構築/学習の実行と結果確認 ■自前データの学習(RNNで気温予測) 入力データと出力データの成形/学習の実行と結果確認 実行結果についての解説			
●カリキュラムの概要 AI開発における標準的なフレームワークであるKerasを使って、典型的な機械学習モデルの構築を行います。当該カリキュラムにおいては、具体的なサンプルとしてMNISTを使った手書き文字認識を例にとりながらAI開発におけるKerasフレームワークの使い方を主に学びます。		●到達目標 本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。 RNNおよびCNNの概要を理解し、学習対象に応じて適切なモデルの選択ができる。 CAEの概要を理解し、適切に学習を行わせることができる。			

113 2日で学ぶ、Pythonを使った機械学習

実施日	12/22～12/23	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-3		●カリキュラムの詳細 AIと機械学習の基礎 ・機械学習とは ・機械学習で解決可能な問題 ・教師あり学習・教師なし学習 ・ディープラーニング Pythonの基本 ・Jupyter Notebookとは ・Pythonの基本ルール ・変数、データ型、演算子、関数 ・リスト、ループ 機械学習に必要な数学 ・線形代数 ・微分 Pythonによる数値計算 ・NumPyの基礎 ・配列の基本計算 ・データの可視化 機械学習アルゴリズム ・回帰(単回帰、重回帰) ・k-Means法 ・k最近傍法 クラウドの機械学習サービス ・Amazon Machine Learning とは ・回帰によるデモンストレーション ディープラーニング ・ニューラルネットワーク ・活性化関数 ・TensorFlow Playground によるデモンストレーション			
●カリキュラムの概要 現在のAIは第3次AIブームといわれ、その中心となるのが機械学習です。本講座は、その機械学習の基本的な内容をプログラミング言語のPythonを使って理解していただく内容となっています。中小企業はAIの導入が遅れていると言われており、その要因の一つがAIに対する理解不足とのことです。本講座は、2日間という期間でAIを理解するための契機となる講座です。AIをこれから学びたいという方には是非ご受講いただきたいと思います。		●到達目標 ・機械学習の理論を理解できる。 ・Pythonでの機械学習手法が理解できる。 ・Jupyter Notebookを使うことができる。			

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

114 Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで					
実施日	1/13～1/15	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	70,000円
●講座情報詳細 時間： 9:30 ～ 17:30 総時間数： 21時間 ITSS： 2-4		●カリキュラムの詳細 1. クラスとインスタンス ・クラス構成要素 (Eclipseを使用) 2. staticとは ・クラス付メソッド、フィールド ・インスタンス付との違い 3. UMLとは ・UMLとは何か ・クラス図の書き方 (astahツールを使用) 4. カプセル化とJavaBeans ・public ・private ・protected ・セッター・ゲッターを付ける理由 5. 継承、インターフェース ・継承 ・インターフェース 6. ポリモーフィズムを理解する ・ポリモーフィズムとは何か 7. デザインパターン・シングルトン ・テンプレートメソッド ・アダプター等			
●カリキュラムの概要 オブジェクト指向言語なら共通して使える設計思想であるデザインパターンのうち、主要な5個ほどを実際にJavaコーディングして身につけます。デザインパターンを説明する際に使用するUMLクラス図なども基礎から学びます。利用するツールEclipseについて経験のないC#、C++技術者でも受講可能です。					
●到達目標 オブジェクト指向と主要なデザインパターンを、設計の用途に合わせて使用できる。					

115 PHPによるWebアプリケーション開発					
実施日	1/20～1/22	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	70,000円
●講座情報詳細 時間： 9:30 ～ 17:30 総時間数： 21時間 ITSS： 2-3		●カリキュラムの詳細 PHP概要 PHPとWebアプリケーション／開発環境について PHPの基本 PHPの基本構文／変数／定数／データ型／配列／型変換演算子 代入演算子／比較演算子／論理演算子／その他の演算子／演算子の優先順位と結合則 制御構文 条件分岐／繰り返し／ループの制御 組み込み関数 関数の基本／文字列関数／配列関数／正規表現関数／ファイルシステム関数／その他の関数 ユーザー定義関数 ユーザー定義関数／変数の有効範囲／引数の記法／関数呼び出しと戻り値／ジェネレーター 標準クラスライブラリ オブジェクト指向プログラミングの基本／DateTimeクラス／DirectoryIteratorクラス／外部ライブラリについて リクエスト情報 リクエスト情報／ポストデータ／クエリ情報／ヘッダ情報／サーバ環境変数／クッキー情報／セッション情報／アップロード処理の実装 データベース連携 データベースの基本操作／データベースへの接続／SQLクエリの発行／結果セットの取得／パラメータ値のバインド／トランザクション処理 オブジェクト指向構文 クラスの定義／カプセル化／継承／ポリモーフィズム／トレイト／オブジェクトの操作／例外処理／マジックメソッド／名前空間／クラスの自動ローディングについて セキュリティ対策 クロスサイトスクリプティング／SQLインジェクション／クロスサイトリクエストフォージェリー／その他の攻撃と予防策			
●カリキュラムの概要 PHP 7 の基本構文からクライアント・サーバー間のデータの受け渡し、データベース連携、オブジェクト指向プログラミング、そしてセキュリティ対策まで、PHPでのWebアプリケーション開発に必要な一連のスキルを、講義と演習を通して習得して頂きます。					
●到達目標 PHP での基本的なプログラミングができる。 PHP でのクライアント・サーバー間のデータの受け渡し方法を理解する。 PHPアプリケーションとデータベースの連携方法を理解する。 PHP でのWebアプリケーション開発時に留意するセキュリティ対策を理解する。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

IT技術コース:アプリケーション

116 Pythonを使った、ディープラーニングの仕組みと検証

実施日	1/26～1/27	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円	
●講座情報詳細 時間: 9:30～16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの概要 現在のAIは第3次AIブームといわれ、その中心となるのが機械学習です。機械学習の中でも特に注目されているのがディープラーニングです。本講座は、そのディープラーニングの基本的な仕組みを学ぶと共に実際にPythonのライブラリー(TensorFlow + Keras)を用いて確認する内容となっています。ディープラーニングを直に使ってみたいという方、AIをこれから学びたいという方は是非ご受講いただきたいと思っております。		●カリキュラムの詳細 AIと機械学習の基礎 ・機械学習とは ・教師あり学習・教師なし学習 ・ディープラーニングとは Pythonの基本 ・Jupyter Notebookとは ・Pythonの基本ルール ・変数、データ型、演算子、関数 ・リスト、ループ ディープラーニングに必要な数学 ・線形代数 ・微分 Pythonによる数値計算 ・NumPyの基礎 ・配列の基本計算 ・データの可視化 パーセプトロン ・パーセプトロンとは ・パーセプトロンの論理演算 ・パーセプトロンの限界 ニューラルネットワーク / ディープラーニング ・活性化関数とは ・出力層(ソフトマックス関数) ・損失関数 ・勾配降下法 ・誤差逆伝播法 ・ミニバッチ学習 ・畳み込みニューラルネットワーク TensorFlow + Keras ・TensorFlow、Kerasとは ・MNISTデータを用いたディープラーニングの検証 ・学習率の向上チューニング ・モデル、学習データの保存と読み込み		
●到達目標 ・ディープラーニングの理論を理解できる。 ・Pythonを使ってディープラーニングを検証できる。						

ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス

117 生産性を上げるタイムマネジメント研修

実施日	8/20	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	28,000円	
●講座情報詳細 時間: 9:30～16:30 総時間数: 6時間 ITSS: -		●カリキュラムの概要 昨今の厳しい経済環境下、限られた人員と時間、資源の中で高い生産性を出すことを求められています。重要な事柄にフォーカスするためには、何を判断軸にどのような行動を選択するのかにかかっています。効率的に業務を進めていくためのタイムマネジメントスキルを学び、「プロセス」「時間の使い方」「コミュニケーション」など、自部署や個々のメンバーの課題と改善策を明らかにし、具体的な行動の計画と実践を促進する		●カリキュラムの詳細 1. タイムマネジメントが必要な理由 ・「働き方改革」に求められる生産性向上とは ・「長時間労働」から「効率的業務」へ ・事例:なぜ時間が足りないのか ・自身の仕事の洗い出し【演習】 2. タイムマネジメントの基本 ・仕事に優先順位を付ける ・やらないことを決める【演習】 ・消費時間分析による問題発見【演習】 ・インプット対アウトプット～所要時間の見積り 3. プロセスの改善 ・プランニングとスケジューリングで設計する ・自分で完結する業務と他者に依頼する業務を調整 ・プロジェクトでのチェック項目【演習】 ・ガントチャートの作成とクリティカルパスの短縮化【演習】 4. チーム内コミュニケーション ・情報が共有できるチームへ ・会議を変える【演習】 ・コミュニケーションの三原則UPA(理解・提案・合意) ・中断や妨害対策・他者への依頼 5. まとめ ・自己改善プランの作成【演習】		
●到達目標 1 業務の効率化・スピード化を促進し、生産性を向上するタイムマネジメントの基礎を学ぶ 2 自身の仕事の洗い出しを行い、日々の時間の使い方の傾向を把握する 3 タイムマネジメントの具体的な時間管理の考え方や進め方を身につける						

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス

118 顧客の心をつかむITソリューション提案の実践 ～実際のITソリューション提案を2日間で体験する～				FISA 5	
実施日	11/26～11/27	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4			●カリキュラムの詳細 1. IT提案で考えるポイント【講義】 (1)IT提案とは (2)IT提案のスタイル 2. 仮説検証型提案のアプローチの全体像【講義】 (1)提案の付加価値を高める (2)「付加価値を高める提案アプローチ」 3. [アプローチ①]提案活動のキッカケ【講義・演習】 (1)キッカケにいかにかアンテナをはるか (2)「RFPから提案を作るには」 4. [アプローチ②]顧客情報の収集・分析 (1)情報収集の方向性 (2)顧客情報の収集 (3)収集した情報を分析する (4)よくある情報化の課題を知る 5. [アプローチ③]仮説を立てる【講義】 (1)SWOT分析から仮説を導き出す (2)収集と発散で仮説を作る 6. 仮説構築演習【演習】 ・事例問題に従い、RFP等から情報を収集し提案の仮説を構築する 7. [アプローチ④]顧客訪問【講義・演習】 (1)ヒアリングに関する準備 (2)ヒアリングの実施手順 (3)コミュニケーションを考える 8. [アプローチ⑤]顧客ニーズの確定【講義】 (1)ヒアリング結果で仮説を検証 (2)経営を変える情報活用手法 (3)論理的に話を組み立てる 9. [アプローチ⑥]提案骨子の作成【講義】 (1)提案骨子で決めること (2)提案書の作成へ (3)提案骨子作成演習【演習】		
●カリキュラムの概要 顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむITソリューションを提示する方法を学習します。「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得します。仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付けます。					
●到達目標 仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付ける					

119 デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案				FISA 6	
実施日	12/1～12/2	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			●カリキュラムの詳細 ビジネス上の価値創出 1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える ・事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介) ・顧客視点からビジネス上の価値を考える ステークホルダの考える価値を引出す 2. ステークホルダと価値の分析 [質問力演習]顧客視点のヒアリング(ワークショップ) [ステークホルダの価値分析]Customer Journey Map 作成(ワークショップ) 価値創造、実践のためのプロジェクト企画 3. 超上流工程の考え方(案件・プロジェクト企画) ・ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト ・デザイン思考的発想 ～未知へのチャレンジプロジェクト ・IT組織としての方向性・データからの価値創出 ビジネスモデルの見える化 4. ビジネスモデルの見える化 ビジネスモデルの分析、複数テーマの分析(優先度、変更管理) ・エンタープライズアナリシス [価値の分析]ビジネスモデル・キャンバス バリュープロポジション・キャンバス作成(ワークショップ) ◎まとめ / 現場での実践にむけて		
●カリキュラムの概要 これからのデジタルトランスフォーメーション(DX)といわれる時代には、新しいビジネス戦略を顧客目線に立った価値提案できる営業マン、エンジニアが必要です。実際の事例を中心に、デジタルビジネスの本質を理解し、「いま」と「これから」のバックキャストの発想で、どのように顧客のビジネスプランが立案されていくのか、顧客と寄り添いながら、顧客も気が付かないような価値を考え、必要事項を引き出す能力を習得していただくコースです。					
●到達目標 ・顧客に寄り添うビジネス価値提案をプランできること ・プロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素がプランできること。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ビジネススキルコース: 戦略立案・ビジネスアナリシス

120 AI/IoTの概要とビジネス創造 ～LEGOとデザイン・シンキングを使って創り出す～				FISA 7	
実施日	12/3～12/4	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-4			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 ・AI/IoTの概要やトレンドを理解して今後のビジネス化や自己の業務に役立てることが出来ます。 ・本研修で産み出されたビジネスアイデアを可視化し、写真付きアウトプットを持ち帰ることが出来ます。 ・米国NASAやGoogle社も導入している「LEGO® SERIOUS PLAY®」というメソッドを用いて、LEGO®ブロックを使いながら、ビジネスのイメージやアイデアを創り出します。(主に1日目) ・さらに米国MITで開発された「デザイン・シンキング」のプロセスを用いて、創り出したアイデアを発展させながらビジネスを具体化していきます。			1. AI/IoTの基本と技術的理解【講義/事例】 (1) AI/IoTとは何なのか? (2) AI/IoTで用いられる技術を理解する (3) 未来に繋がるIoTの事例とビジネストレンド (4) 未来を創るAI/IoTの事例とビジネストレンド (5) AI/IoTにおける今後の可能性 2. LEGO SERIOUS PLAY®スキルビディング【演習】 (1) 「LEGO SERIOUS PLAY」とは何か (2) 作る→語る→質問に答えるプロセスに慣れる 3. LSPを用いてAI/IoTのアイデアを創り出す【演習】 (1) AI/IoTのビジネスで活用シーンを思い描く (2) ビジネス・アイデアを複数考え出す (3) アイデアどおしの相乗効果を得る (4) ブラッシュアップ (5) ビジネスとしてまとめる 4. デザイン・シンキングの基本理解【講義】 (1) デザイン・シンキングとは何か? (2) デザイン・シンキングの活用事例 (3) デザイン・シンキングの基本プロセス 5. AI/IoTビジネスを具体的に検討する【講義/演習】 (1) 発見プロセス: インタビューと観察 (2) 詳細化プロセス: 共感マップからの着眼 (3) 探求プロセス: アイデアの選択と発展 (4) 実験プロセス: プロトタイプづくりと洗練 (5) 展開プロセス: シナリオとストーリーテリング →各プロセス毎にポイント講義～演習を繰り返す 6. 総合デモによる発表【演習】 (1) 総合デモの実施方法説明 (2) 各グループのシナリオを発表する (3) 感想共有/講師コメント ・受講者の感想シェア/講師コメント		
●到達目標 1. 一人最低5件のIoTビジネスのアイデアを持ち帰ります 2. ビジネスシンキングについて説明できるようになります 3. 自分自身のアイデアをブラッシュアップして持ち帰ります					

ビジネススキルコース: 問題解決・思考方法

121 信頼されるSEに求められる問題解決スキル					
実施日	7/6～7/7	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 某自動車メーカーで使われる問題解決のスキル、すなわち、問題発見、真因追求、解決策立案のスキルとそれらをA3一枚にまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルを理論と実践を通じて身につけます。 講師、他者等様々なフィードバックと短時間・高負荷の演習により自己の思考の特性が把握できます。受講者自身が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を一緒に考えていきます。 実際の職場における問題・課題を扱いながらグループディスカッションを繰り返すことによりファシリテーション能力を向上させるとともに、他の方々との交流でき、楽しく身につけることができます。			1. 講座の狙い【講義】 ・講座の狙い 2. 問題とは【講義】 ～問題がないことは問題か?～ ～2種類の問題とは?～ 3. ファシリテーションとは?【演習】 ～ファシリテーターの4つの役割～ 4. 問題解決の全体像【演習】 ～問題解決のステップとは?～ 5. テーマ選択【演習】 ～選択基準の鉄則とは?～ 6. 現状把握【演習】 ～現状把握に役立つツール～ 7. 目標設定【演習】 ～目的と目標はどう違う?～ 8. 要因解析【講義】 ～要因解析に役立つツール～ 9. 要因解析 ケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション ・要因解析を受け 発表 10. 対策立案【講義】 ～ロジックツリーの使い方とは?～ ～対策立案に役立つ9つの質問～ 11. 対策立案のケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション ・グループディスカッションの続き → 発表 12. 効果の確認【講義】 ・効果の確認 ・再発防止と課題 ・歯止め策 ・今後の進め方 13. A3用紙1枚へのまとめ方【演習】 ・コンテストによる最優秀者の選出 ・他者フィードバック ・講師フィードバック		
●到達目標 1. 問題の発生を未然に予測し、行動することができる 2. 問題が発生した場合でも、問題を冷静に分析し、効果的な対策が打ち出せる 3. 対策の効果とそのコストをA3用紙1枚で説明し、関係者が納得できる現実的な対策を提案できる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ビジネススキルコース:問題解決・思考方法

122 システム開発におけるレビュー技法 ～ミーティング時間の短縮とより重大な欠陥を見つけるために～				FISA 8	
実施日	11/24～11/25	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間： 9:30 ～ 16:30 総時間数： 12時間 ITSS： 2-3			●カリキュラムの詳細 1.システム開発の現状とレビューの関係 (1)システム開発の現状とレビューの関係 (2)システム開発の「見える化」とレビュー (3)プロセスレビューでの「見える化」ポイント 【講義・演習】 2.レビュー技法の種類と概要 (4)プロダクトレビュー実施におけるポイント (5)レビュー技法の種類と概要 (6)なぜ、レビューはされないのか (7)レビューに関するディスカッション 【講義・演習】 3.インスペクションの概要 (7)インスペクションの概要 (8)インスペクションプロセス 【講義・演習】 4.インスペクションプロセス (8)インスペクションプロセス (IV)ミーティング(V)修正、フォローアップ (9)インスペクションデータの分析・評価 【講義・演習】 5.レビュー (10)レビュー促進するには (11)職場でのレビューの必要性 (12)職場の現状と課題を考える 【講義・演習】		
●カリキュラムの概要 プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。 1日目の目標は「レビューの視点を知る」ということで、様々なレビューの種類を学び、どのような視点でレビューを行うかを学びます。 2日目の目標は「レビューの技法を知る」ということで、インスペクションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの仕方を学びます。 よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。					
●到達目標 ・レビュー基本操作を理解する ・レビューのインスペクション手法を利用できる。					

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

123 失敗しないプロジェクトのための段取り力

実施日	12/14～12/15	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間： 9:30 ～ 16:30 総時間数： 12時間 ITSS： 2-3			●カリキュラムの詳細 ◎オリエンテーション【講義】 ・ノミニング・セッション 1. プロジェクトマネジメントとは？【講義】 2. 日本人の得意な段取りについて【講義】 3. PMBOK第6版の解説【演習】 (1)「10の知識エリア」の実例 (2)なぜ、プロジェクトは失敗するのか？ 4. プロジェクトの目的と目標【演習】 (1)プロジェクトの目的の確認 (2)プロジェクト目標の確認・ (3)各プロジェクト発表 5. 段階樹詳細化について【演習】 (1)WBSとは (2)なぜ、WBSを作るのか？ (3)WBS作成演習 (4)他者に仕事を割り当てるときの極意 (5)メンバーの参画意欲を高めつつ 正確な期間・工数見積もりをする方法 6. ネットワーク図【演習】 (1)ネットワーク図とは (2)ネットワーク図の作成 (3)納期短縮法 (4)バッファの扱い方 (5)資源平準化 7. リスクマネジメント【演習】 (1)2種類のリスク (2)リスクの察知能力を高める (3)どのリスクを対策すべきか？ (4)リスクを見込んでさらに強い計画を立てる ・全体発表と講師講評 8. 段取り力向上「5つの習慣」【講義】 ◎総まとめ ・自己成長のための指針		
●カリキュラムの概要 成功率『約3割』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？ 本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。 プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードであるPMBOKも参考にしつつITプロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネージャとしての基本を学びます。同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。					
●到達目標 1. プロジェクトマネジメントにおける主要な計画が独力で立てられる 2. 資源成約を考えたスケジュール計画が独力で立てられる 3. 工数・期間をメンバーの協力の下、見積もることができる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

124 失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力

実施日	12/16~12/17	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 0. オリエンテーション (1) ノーミング・セッション (2) グラウンド・ルール作り 1. プロジェクト・マネジメントとは【演習】 ・プロジェクトマネジメントとは何か 2. ファシリテーションとは【講義】 (1) ファシリテーションの2つの目的 (2) みんなの意見は案外正しい 3. 日本人の苦手なリスクマネジメント【講義】 (1) なぜ、日本人はリスク音痴(?)に? (2) リスクを取らないとどうなるか? 4. EVMによるコントロール【演習】 (1) 成功の鍵は定量管理 (2) 基本用語と計算方法の確認 (3) 練習問題 (4) 将来予測による先読み 5. リスクマネジメントとは?【演習】 (1) リスクとは? (2) リスク管理の4ステップ (3) リスクの優先順位付け (4) 2つのリスク対策 6. リスク・マネジメントゲーム①【演習】 (1) 要求定義フェーズ (2) 結合テストフェーズ ・個人/グループ演習・全体発表と講師講評 7. リスク登録簿を持ち帰る【演習】 (1) リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS簡易版・個人/グループ演習 ・全体発表と講師講評 ・全体発表と講師講評 8. 先読み力向上「5つの習慣」【講義】 ◎まとめ ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要 成功率「約3割」といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか? 本研修では、その答えの一つとして『リスクマネジメント』を取り上げます。 ITプロジェクトの立ち上げから終結にいたるまでの各段階に起こりうる事例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロ、レゴなどを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。 研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。 ※本研修では主として「実行」～「監視・コントロール」プロセス群を扱います。					
●到達目標 ・独力でリスク管理表が作成できる。 ・独力EVMを使った進捗管理ができる。 ・リスク対策を1人5つ以上、現場の仕事に持ち帰る。					

125 デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」アップ・トレーニング

実施日	2/4~2/5	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3		●カリキュラムの詳細 1. 今何が起きているのか何をすべきか ・デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える ・事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介) ・顧客視点からエンゲージメントを考える 2. デジタル(DX)組織の事例と分析 ・デジタル組織におけるステークホルダといまどきの役割の分析 ・ユーザー部門の 今(これから) vs 昔 [ステークホルダ分析]Influence Map 作成(ワークショップ) 3. エンゲージメント力の高いプロジェクトチームに必要なこと ・自律型組織のために ~エンゲージメント力が低いと何が起るか ・指示待ち族・くれない族(会社は何もしてくれない発言) ・伝書鳩・楽したいを思わない?・変わりたくない症候群 ・RPAといわれて疑問を持たない?・AI未満人材 4. ショートケースによる分析 ・ビジネスモデルの見える化 [エンゲージメントの分析]ショートケースメソッドによる、課題の気づき(ワークショップ) ◎まとめ / 現場での実践にむけて			
●カリキュラムの概要 デジタルトランスフォーメーションといわれる時代、未知のビジネスを創造するには、チーム組織におけるアジリティが必要とされます。どのように顧客のビジネスプランが立案されていくのか、顧客と寄り添いながら、顧客も気が付かないような価値を考え、引き出しながら、良い関係、エンゲージメント力を発揮していただくためのコースです。働き方改革が騒がれる中、「働きやすい」だけでなく、心から「働き甲斐」を実現するプロジェクトリーダーの必須スキルを習得していただくコースです。					
●到達目標 ・IoTビジネスの企画をプランできること ・プロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素がプランできること。					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

126 チームメンバー・OJT担当者のためのメンバーをリードする技術～自ら考え、自ら動くメンバーへ導くリーダーになるために～				FISA 9	
実施日	9/3～9/4	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 2-3			●カリキュラムの詳細 1. 「知識を教える技術」を考える (1) 教え方についての誤解 (2) 教え上手な「指示」の出し方 (3) 基本的な学習モデルについて 【講義・演習】 2. 上手な「知識」の教え方ノウハウ (1) 教え方のノウハウ 【講義・演習】 3. 相手に正しく伝える説明力 (1) 説明プロセスを把握する (2) 相手に伝わるとはどういうことか？ (3) 伝える構造を明確にする論理ピラミッド 【講義・演習】 4. 相手の理解を深める図解力 (1) 図解のメリットを考える (2) 「図解」を作成する3つのポイント (3) 「業務フロー」で図解を活用してみる 5. まずは「ちゃんとやりなさい」から抜け出す (1) 一方的に話しては相手は納得できない (2) なぜ、何を学ぶのが曖昧では動けない (3) 尊重の気持ちなしでは相手に届かない 6. 「意欲」とは何か？～モチベーションについて考える (1) モチベーションとは何か (2) モチベーションに関する理論 (3) メンバーのモチベーションを上げるには 7. 意欲を引き出す教え方とは (1) 学ぶ場を楽しいと感じる雰囲気づくり (2) 教える人の心構えと意識 (3) 目標の達成をサポートする 8. メンバーの「行動」を変化させる教え方 (1) 「教える」ことで「行動」を変化させる (2) 「行動」を変化させる教え方 9. 「教え方」のブラッシュアップにむけて 「教え方」のブラッシュアップにむけて		
●カリキュラムの概要 ITプロジェクトを成功に導くためには「自分で考えて動けるメンバー」が必須になっているといえます。そのためにコーチングなどの手法による「気付き」を重視する場面が増えています。 ただし、わからないことだらけの新人や、仕事があまくこなせていないメンバーには、コーチングとともに、きめ細かく丁寧に教えるティーチングも必要になります。 つまり、「気づき」の元となる「知識」は教える必要があり、そのうえで、学ぶ意欲を高める「教え方」をすることが大切です。この研修ではITプロジェクトを成功に導くための「自分で考えて動けるメンバー」を育てる「教え方」を様々な角度から学びます。					
●到達目標 ・「自分で考えて動ける人材」を育てるための「教え方」を身につける。 ・メンバーのやる気を引き出す「教え方」を身につける。 ・メンバーに教えずぎない説明力を身につける。					

127 サーバントリーダーシップ研修 ～部下の成長を促進するリーダーシップ～				FISA 10	
実施日	11/10	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	25,000円(会員) 28,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: 2-3			●カリキュラムの詳細 1. リーダーシップの全体像 ・リーダーシップとは何か ・様々なリーダーシップスタイル ・サーバントリーダーシップとは何か ・なぜサーバントリーダーシップが求められているのか 2. サーバントリーダーシップとは ・サーバントリーダーシップの要素 ・具体的なリーダーシップ行動 ・事例を基に問題点と方法を考える【演習】 (私も業務で忙しい、みんなを引っ張れる気がしない) ・私の強みと弱みを知ろう【演習】 3. サーバントリーダーシップの実践 ・ミッション・ビジョンを共有する【演習】 ・メンバーにサブする、動機づける【演習】 ・支援スキル(育成・承認・共感・フィードバック・フォロー)【演習】 4. タイプ別のサーバントリーダーシップ ・ケース別に対応を考える【演習】 事例1: 未成熟で自由過ぎるメンバー 事例2: 有能だが孤立しているメンバー 事例3: 自分より経験豊富で年上のメンバー 5. 今後にむけたプラン リーダーシップ向上プランの作成と発表【演習】 6. まとめ 質疑応答		
●カリキュラムの概要 サーバントリーダーシップは部下の仕事を支え同じ仲間として協働しながら、部下の信頼を得てリーダーシップを発揮するのが特徴です。「自分はどうすれば部下の役に立ち、目指すべき方向に導き、組織の目的を成し遂げられるか」というリーダーシップスタイルです。本研修では、部下への「奉仕」や「支援」の姿勢を徹底的に貫き、信頼を高め、成長を促進し、組織の目的を成し遂げる、という「サーバントリーダーシップ」を身に付けるためのプログラムです。					
●到達目標 1. サーバントリーダーシップの特徴と実践方法を学ぶ 2. リーダーシップ向上のためのアクションプランを作成し、実践につなげる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

128 IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法～				FISA 11	
実施日	7/29～7/30	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	50,000円(会員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: 1-2			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 IT人財に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。 各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			1. ロジカルコミュニケーション ◎オリエンテーション ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か? ・論理性とコミュニケーション ・ロジカルコミュニケーション (1)論理とは (2)論理の基本形 2. 誰でもできる、ロジカルシンキング (1)ロジカル4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック 3. より強固なロジカルシンキング (1)why so? So What? (2)MECE (3)ストーリー性 4. プレゼンテーション (1)なぜ、プレゼンが必要か? (2)プレゼンテーションの3Cとは? (3)論理的なプレゼン 5. プレゼンテーションの導入 (1)自己紹介でつかむ (2)〇値法でつかむ (3)クイズ法でつかむ 6. プレゼンテーションの本論 (1)説明型 (2)主張型 (3)提案型 7. 実践、プレゼンテーション企画 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック 8. プレゼンテーションの実践 ・個別発表 ・講師コメント ◎総まとめ ・自己成長のための指針		
●到達目標 ・独力でロジカルに考えることができる ・独力でプレゼンテーションのプランが立てられる ・他者と協力してプレゼンテーションが実施できる					

129 アンガーマネジメント研修				FISA 12	
実施日	8/5	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	25,000円(会員) 28,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ～ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: -			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 世代間、役職間、クライアントとの間で生じがちな感情的な行き違いを緩和するため、感情の仕組みを知り、冷静に対処する術を身につけます。 怒りやイライラの本当の原因は意外なところがあり、一人一人違うものです。 感情を無理に抑えるのではなく「マネジメント」できるようになることで、人間関係が改善するだけでなく業務効率も高まります。何より自分自身が楽になります。 さらにこの講座の中では、自分と身近な相手の考え方の特性を知り、タイプ別のコミュニケーション術を学びます。			1. 感情の仕組み (1)参加者の課題の共有 (2)感情の仕組み 2. 怒りとは (1)怒りの本当の原因 (2)怒りの対処法 3. タイプ別のコミュニケーション (1)気質で分類される4つのタイプ (2)それぞれに適した接し方 4. 総合演習 (1)自身のパターンの確認 (2)日常場面を想定したロールプレイ		
●到達目標 1. 個人が抱える課題を整理する 2. 課題に対する方策と実行計画が明確になる 3. 担当業務や企業の目標に対して主体的に取り組めるようになる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

130 ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性				FISA 13	
実施日	8/27	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	25,000円(会員) 28,000円(非会員)
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: -			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 五感を育み、感性をビジネスで活かす手法は、近年、スポーツ選手や海外でのビジネスには多く取り入れられています。まずは、自分の体・心の状態を知り、思考のクセを見つけ自ら心身のケアで整えていくことを身につけます。心身共にバランスの取れた軽快に動けるコミュニケーションを自ら考え行動する方法を学びます。			●カリキュラムの詳細 自分の体・心の状態を知る ・自分の体と向き合う(からだミーティング) ・自分の心をどうチェックするのか? メンタルヘルスケア ・リラクセスとリフレッシュの違い ・メンタルヘルスケア・ワーク ・脳の活性化ワーク 自分メンテナンスの重要性 ・脳機能のしくみ ・自分で調整することの重要性 自分と長けている五感を知る ・ポジティブフィードバックワーク ・自分分析・長けている五感はどこか ・各感性別特徴 五感マーケティング ・五感がどう影響するか ・なぜ今感性を活かしたコミュニケーションが有効なのか ・男女間での違い ・ケーススタディ 総合 ・まとめ・感想・質疑応答 ・受講生からフィードバック・講師からコメント ・自分分析シートの記入		
●到達目標 自分の体調に責任を持つ・自分メンテナンスについて理解する 自分の心・体を知り、感性を活かしたコミュニケーションを取れるようになる					

131 【女性向け】ありたい自分のキャリアデザイン研修					
実施日	9/9~9/10	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細 時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: -			●カリキュラムの詳細		
●カリキュラムの概要 女性の割合は26%(総務省統計局 労働力調査「情報通信業」)と、働きやすいと言われる割にはIT業界の女性は少数派です。そんなIT業界の中で頑張っている女性のライフイベントを考慮した「キャリアデザイン」を作成するセミナーです。ご自身の興味関心・能力適正をアウトプットし自己理解を深め、仕事のキャリアやスキルの棚卸しを行い、仕事のやりがいや楽しさを客観的にみつめます。それらを経て、中長期的な「キャリアデザイン」の描き方が具体的に理解でき、明日から具体的な行動ができるようになります。同じような環境の女性同士でグループセッションを楽しみながら実施し、あたたかい信頼できるコミュニケーションが構築できます。また部下育成に必要なコミュニケーションスキルも習得できます。IT業界に詳しくカウンセリングやキャリア相談を実施している女性講師が受講生に寄り添いながらすすめていきます。			●カリキュラムの詳細 1. キャリアとは (1)なぜ今キャリアデザインなのか (2)IT業界における女性の登用 2. キャリア発達の全体像【講義・演習】 (1)女性のライフキャリアアレンボー 3. かけがえのない私のキャリアデザイン前編 (1)かけがえのない私のキャリアデザイン前編 4. 自己理解を深める【講義・演習】 (1)興味関心を知る (2)ゆるぎない価値観 キャリアアンカーで価値観を知る (3)能力に気づく コミュニケーションゲーム ジョハリの窓で振り返り 5. 仕事理解を深める【講義・演習】 (1)仕事理解とは (2)スキルの棚卸し 6. 傾聴スキル【講義・演習】 (1)傾聴技法 (2)仕事理解のための傾聴 ※傾聴セッション 7. かけがえのない私のキャリアデザイン後編 (1)かけがえのない私のキャリアデザイン後編 8. 目標設定【講義・演習】 (1)フレームワークを利用した目標設定 9. 方策の実行【講義・演習】 (1)方策の実行とは (2)具体的行動のための傾聴セッション		
●到達目標 1. いままでのキャリアを振り返る 2. ありたい自分の「キャリアデザイン」を作成し持ち帰る 3. 明日からの方策を明確にし実行計画が作成できる					

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

132 心理学を応用したメンタルヘルス・マネジメント

実施日	10/22～10/23	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	55,000円
●講座情報詳細		時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 12時間 ITSS: -		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		平成27年12月1日にストレスチェック制度が創設されました。また、パワハラやセクハラ等が問題となっている昨今です。そこで本研修では、心の管理法を習得する心理学から考えられたメンタルヘルスマネジメント手法を提供します。 心理学を基礎から学ぶことにより、個人の立場から具体的な行動レベルの知識を習得することができます。また、管理監督者の立場からメンタルタフネスを指導する方法や実際に起こり得る具体的な職場での対処法を学びます。		<ol style="list-style-type: none"> 心理学の基礎 <ol style="list-style-type: none"> (1)心理学の基礎 (2)心理学の歴史 (3)身近なものからの心理学(行動・色など) 心理学の応用 <ol style="list-style-type: none"> (1)心理学の応用 (2)心の健康について (3)現代の心の病気について (4)メンタルヘルスと睡眠 メンタルヘルスマネジメント <ol style="list-style-type: none"> (1)健康な心の状態とは (2)ストレッサー (3)ストレス度とは (4)ストレスの書き出し (5)ストレス度チェック (6)セルフメンタルケアとは... (7)ピルーフチェンジ(ネガ・ポジ変換法) (8)感情コントロール(クリアリング法) 自分を知らう <ol style="list-style-type: none"> (1)色彩心理学分析 (2)コミュニケーション心理分析 (3)メンタルタフネス度(=心の強さ)チェック (4)メンタルタフネスを作る方法 職場で起きやすいハラスメント対策 <ol style="list-style-type: none"> (1)パワーハラスメント (2)セクシャルハラスメント (3)モラルハラスメント 職場でのコミュニケーション方法 <ol style="list-style-type: none"> (1)予防・早期発見の基本 (2)メンタルヘルス不全者のサイン (3)大切なコミュニケーション方法(聴く・話す) (4)色彩をコミュニケーションに活かす方法 (5)相談を受けた際の注意・対応 (6)アンガーマネジメント 総合演習 <ul style="list-style-type: none"> ・職場でのケーススタディ1、2、3 ・受講者からのフィードバック・講師コメント ◎総まとめ【講義/演習】 メンタルヘルスマネジメントのための指針 ～研修成果お持ち帰りシートの記入と全員発表	
●到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. メンタルタフネスについて正しい理解をする 2. メンバーのメンタル面を指導できる 3. 不調者に対して適切な対応ができる 			

133 【若手向け】業務効率にも繋がるモチベーションマネジメント

実施日	11/17	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	28,000円
●講座情報詳細		時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: -		●カリキュラムの詳細	
●カリキュラムの概要		IT業界の離職率(3年以内)は10.5%。 日々の業務に追われる中で、新採当のような前向きさや仕事への目的意識を持ち続けることは容易ではありません。人間関係の悩みも生じます。 新卒5年目までは長いキャリアの土台となる重要な時期。 この研修では、若手の皆さんが普段感じている課題や自分の感情を整理し、見える化・共有していきます。自身の課題は「今できること」にまで落とし込み、組織として取り組むべき課題は別途整理します。 1年後、3年後、自身が「どうなっていたいか」を描き、担当業務や組織のビジョンとの繋がりを感ずることで日々の業務に意義を見出し、自身の成長や組織の目標に対して主体的に動けるようになります。		<ol style="list-style-type: none"> 1. IT業界若手のリアル <ol style="list-style-type: none"> (1)IT業界の若手が抱えがちな課題 (2)他業界と比較した際の特徴 2. 課題の洗い出し、整理 <ol style="list-style-type: none"> (1)参加者の悩みの見える化・共有・分類 3. 個人と組織のビジョンを繋ぐ <ol style="list-style-type: none"> (1)企業理念や目標の確認 (2)今後のキャリアビジョンを描く(仕事・ライフスタイル) (3)個人と組織の繋がりを確認 4. プランニング、宣言 <ol style="list-style-type: none"> (1)ビジョン実現のためのプランニング(個人、組織) (2)宣言、フィードバック 5. プラン実行時のマネジメント術 <ol style="list-style-type: none"> (1)基本のマインド (2)コミュニケーション (3)プラン通りに進まない際の対処法 	
●到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人が抱える課題を整理する 2. 課題に対する方策と実行計画が明確になる 3. 担当業務や企業の目標に対して主体的に取り組めるようになる 			

● 2020年度 一般研修 カリキュラム内容

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

134 ブラッシュアップ・ビジネスマナー ～信頼されるビジネスパーソンになるために～					
実施日	2/17	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込み)	28,000円
●講座情報詳細		●カリキュラムの詳細			
時間: 9:30 ~ 16:30 総時間数: 6時間 ITSS: -		ブラッシュアップ! ビジネスマナー ・ビジネスマナーの重要性と効果について ・ビジネスマナーで重要な3つの「こ」 勝負は一瞬! 第一印象の重要性 ・第一印象の重要性 ・第一印象をよくするための3つのポイント ・ほんの少しで差がつく立ち居振る舞いとは 会いたい!と言われる電話対応 ・電話対応者の役割と心構え ・こんなときどうする? ケーススタディー ・電話対応者に求められるプロ意識 信頼を勝ち取る! 言葉遣い ・敬語の正しい使い分け ・ワンランク上の言葉遣いと相手の心に残る言葉遣い 信頼されるビジネスパーソンになるために ・堅苦しいマナーはおさらば! あなたらしさが輝くビジネスマナーとは ・信頼から生まれるビジネスチャンス ・ビジネスパーソンにもとめられるコミュニケーション			
●カリキュラムの概要					
ビジネスマナーを学んでから時間が経ってしまい、「よくわからないまま自己流でやっている」「確信が持てない」「今さら誰にも聞けない」ということはありませんか。本講座では、形を覚えるマナーではなく、心を動かし、技を身につけ、あらゆるビジネスシーンに対応できるマナーを実践的に学びます。実践的なロールプレイングを交え、社内外で信頼されるビジネスパーソンを目指します。					
●到達目標					
・ビジネスパーソンとしての必要なマナーを身に着ける ・円滑なコミュニケーションがとれる					

お申込み方法

- ・弊社主催講座の受講お申し込みは、「個人情報の取り扱いについて」をご承諾のうえ、別紙「受講申込書」に必要事項をご記入いただき、FAXまたは弊社Webサイト(<http://www.fsc-go.co.jp>)よりお申し込みください。
- ・FISAタイアップ研修の受講お申し込みは、別紙の専用申込用紙に必要事項をご記入いただき、郵便またはFAXにて申し込みください。
- ・受講申込の受付は、定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・講座開催が決定いたしましたら、受講通知書・受講票・請求書を申込責任者宛にお送りいたします。
- ・お申込みが少ない場合は、やむをえず中止とさせていただく場合もございます。予めご了承ください。
- ・中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
- ・各講座のお申込み締め切りは、講座開始日の20日前となります。
- ・申し込み後のキャンセルにつきましては、下記のとおりです。

講座開始日の前営業日より起算して	キャンセル料
お申込日より11日営業日前まで	無料
6営業日前～10営業日前まで	受講料の50%
当日～5営業日前まで	受講料の100%
不参加及び開始後の取消	受講料の100%

お問い合わせ先

- 福岡ソフトウェアセンター主催講座
(株)福岡ソフトウェアセンター
【本社】
〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526-1
TEL/FAX:0948-21-1281/0948-21-0173
【福岡研修室】
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F(506)
TEL/FAX:092-292-9710/092-292-9715
- FISA(一般社団法人福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修
(一社)福岡県情報サービス産業協会 事務局
〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル3F
TEL/FAX:092-832-1344/092-845-1003

受講料払込み方法

- 福岡ソフトウェアセンター主催講座
講座開催決定後、ご請求書を送付いたします。ご請求書に記載しております所定の金融機関に、**各講座受講終了日より2週間以内にお振り込みください。**
振込手数料は、貴社負担でお願いいたします。
- FISA(一般社団法人福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修
事務局よりご請求書を送付いたします。
受講料は、**各講座開始日前までにお振り込みください。**
振込手数料は、貴社負担でお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

株式会社 福岡ソフトウェアセンターは、弊社の教育講座受講の申し込みの際に、貴殿よりご提供された個人情報及び福岡県情報サービス産業協会とのタイアップ研修で申し込まれた個人情報の取り扱いについて、次のように管理し、保護に努めます。

1. 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス、画像などによって個人を識別できる情報のことをいいます。

2. 収集範囲、利用目的

教育講座受講者を識別する為、氏名・性別・生年月日・企業名・所属部 課名・役職・年齢・従事業務内容・従事期間などの情報を収集いたします。
受講通知書の送付・連絡、受講者のご確認、研修を行う上でのスキル判断、受講証明の発行、研修の案内、請求書の発行、緊急時の連絡手段、IT技術者育成 研修講座の実施に必要な範囲内において利用いたします。

3. 第三者への提供

上記の場合または法律で定められている場合を除いて、応募される方々の個人情報を当該応募者の同意を得ず第三者に開示・提供することはありません。

4. 個人情報の適正管理について

お預かりした個人情報は当社にて厳重に管理します。なお、貴殿からご提出いただいた必要書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

5. 個人情報の開示・訂正・削除について

弊社が保有する貴殿の個人情報について、開示を請求することができます。また、開示の結果、個人情報の訂正・削除を請求することもできます。貴殿ご自身の個人情報の開示・訂正・削除を請求される場合は、下記連絡先にご連絡をお願い致します。なお、本手続きにあたり、貴殿がご本人であることを確認させて頂くことがあります。

6. 個人情報提供についての同意の確認

上記1～5について同意をいただいた上で、申し込みお願いいたします。但し、情報の提供は任意です。
なお、適切な情報が提供されない場合、当該情報に関する処理が行われませんので、予めご了承ください。(その際はその都度、個別に説明をさせていただきます。)

【連絡先】

〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526番地1
株式会社 福岡ソフトウェアセンター
個人情報保護管理者
TEL/FAX: 0948-21-1281/0948-21-0173
E-mail: info@fsc-go.co.jp

公的助成金制度のご案内

人材開発支援助成金については、福岡労働局(助成金センター)又は弊社までお問い合わせください。
弊社では、申請書類作成のサポートを行っております。お気軽にご相談ください。

助成メニュー(訓練関連)

雇用保険の被保険者に職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした訓練を実施した場合、その経費や賃金に対して助成します。

支給対象となる訓練等	賃金助成 (1人1時間当たり)		経費助成	
		生産性要件を 満たす場合		生産性要件を 満たす場合
①特定訓練コース	760円(380円)	960円(480円)	45%(30%)	60%(45%)
②一般訓練コース	380円	480円	30%	45%

※()は中小企業以外の助成額・助成率

【お問合せ先】

福岡助成金センター(福岡労働局)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館1F TEL:(直)092-411-4701
又は、(株)福岡ソフトウェアセンター 徳重(とくしげ)までお問合せ下さい。TEL:092-292-9710

FSC 受講申込書

前頁「個人情報の取り扱いについて」を承諾のうえ申し込みます。

会社名		TEL	
住所		FAX	
		E-mail	
お申込責任者		所属部課名	

講座分類	講座名

フリガナ 受講者氏名	生年月日 性別	所属部課	勤務年数 SE経験年数
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年
	年 月 日 男・女		年 年

*最低開催人数は5名とさせて頂いております。

中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

*お申込みはFAX又は弊社Webサイトよりお申込みください。(http://www.fsc-go.co.jp)

*受講申込み締切は講座開始日の20日前となります。

*申込み後のキャンセルにつきましては下記のとおりです。

講座開始日の前営業日より起算して	キャンセル料
お申込日より11日営業日前まで	無料
6営業日前～10営業日前まで	受講料の50%
当日～5営業日前まで	受講料の100%
不参加及び開始後の取消	受講料の100%

お申込み、お問い合わせについて

(株)福岡ソフトウェアセンター

【福岡研修室】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F(506)

TEL/FAX:092-292-9710/092-292-9715

担当:徳重(とくしげ)

FISAタイアップ研修 受講申込書

(実施機関: (株)福岡ソフトウェアセンター)

会社名		TEL	
住所		FAX	
		E-mail	
お申込責任者		所属部課名	

No.	講座名	日数	期間	会員受講料	非会員受講料
F1	Raspberry PiによるIoTことはじめ	2日間	12/7~12/8	50,000円	55,000円
F2	Pythonによるディープラーニング入門	2日間	10/12~10/13	50,000円	55,000円
F3	レスポンスWebデザイン制作	2日間	10/20~10/21	50,000円	55,000円
F4	IT技術者のためのRPA入門	2日間	11/5~11/6	50,000円	55,000円
F5	顧客の心をつかむITソリューション提案の実践 ~実際のITソリューション提案を2日間で体験する~	2日間	11/26~11/27	50,000円	55,000円
F6	デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案	2日間	12/1~12/2	50,000円	55,000円
F7	AI/IoTの概要とビジネス創造 ~LEGOとデザイン・シンキングを使って創り出す~	2日間	12/3~12/4	50,000円	55,000円
F8	システム開発におけるレビュー技法 ~ミーティング時間の短縮 とより重大な欠陥を見つけるために~	2日間	11/24~11/25	50,000円	55,000円
F9	チームメンバー・OJT担当者のためのメンバーをリードする技 術~自ら考え、自ら動くメンバーへ導くリーダーになるために~	2日間	9/3~9/4	50,000円	55,000円
F10	サーバントリーダーシップ研修 ~部下の成長を促進するリーダーシップ~	1日間	11/10	25,000円	28,000円
F11	IT技術者のためのコミュニケーション ~「論理的」で「伝わる」意思疎通の技法~	2日間	7/29~7/30	50,000円	55,000円
F12	アンガーマネジメント研修	1日間	8/5	25,000円	28,000円
F13	ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性	1日間	8/27	25,000円	28,000円

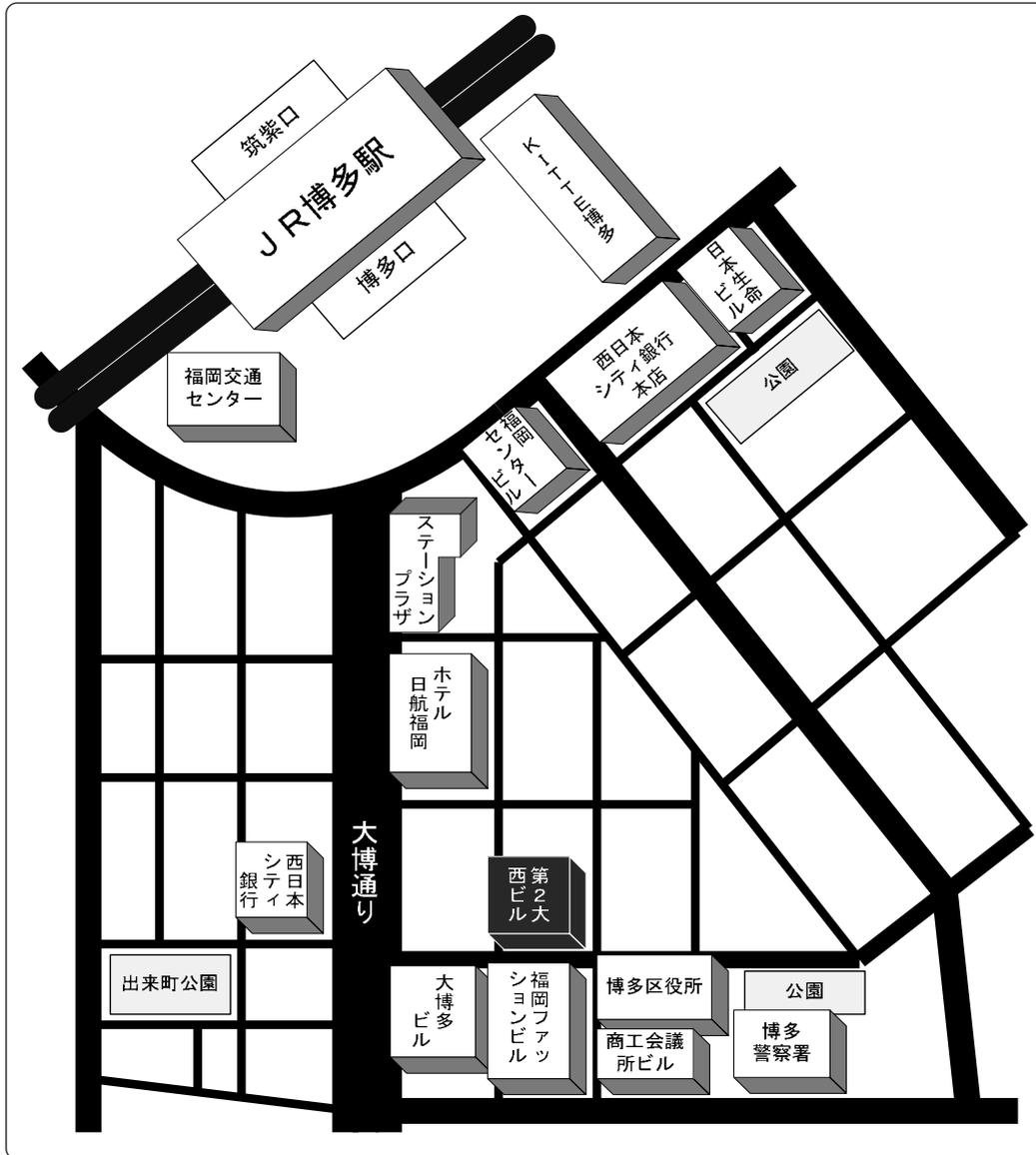
フリガナ 受講者氏名	生年月日(年齢) 性別	領収書 メールアドレス	申込(No) 所属部署
	年 月 日() 男・女	要・不要	
	年 月 日() 男・女	要・不要	
	年 月 日() 男・女	要・不要	

- * 受講料にはテキスト代金が含まれています。受講料は税別価格です。
- * 助成金等の申請に必要な証明は、当協会にて準備いたしますので、お申しつけください。
- * 本受講申込書によりお客様から頂いた個人情報、本セミナーの申込受付・受講通知書発送・請求書発送・受講証明書発行・緊急時の連絡手段としてのみ使用いたします。また、お客様から頂いた個人情報は当協会共催の教育機関のみが取扱い、その他の第三者には一切開示提供いたしません。
- * 受講申込み締切は講座開始日の20日前となります。
- * 申込み後のキャンセルにつきましては下記のとおりです。

講座開始日の前営業日より起算して	キャンセル料
お申込日より11日営業日前まで	無料
6営業日前~10営業日前まで	受講料の50%
当日~5営業日前まで	受講料の100%
不参加及び開始後の取消	受講料の100%

○お申込み、お問い合わせについて
TEL/FAX: 092-832-1344/092-845-1003

研修会場のご案内



【福岡研修室】

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F(506)

TEL/FAX: 092-292-9710/092-292-9715

●交通アクセス

- | | | |
|------------------------|----|-----|
| ・博多駅より | 徒歩 | 10分 |
| ・地下鉄天神駅より「福岡空港行き」祇園駅下車 | 徒歩 | 4分 |
| ・西鉄バス博多駅前一丁目バス停より | 徒歩 | 2分 |



株式会社 福岡ソフトウェアセンター

本 社 〒820-0066
福岡県飯塚市幸袋526-1
TEL 0948-21-1281 FAX 0948-21-0173

福岡研修室 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F
TEL 092-292-9710 FAX 092-292-9715